

事務事業評価シート(平成26年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

| 事務事業コード | 事務事業名 | 担当課 | 担当係名 | 所属長(課長等)名 | 担当係長名 | |
|----------------|--|----------------------------------|---------------------------------|--|--|--|
| 41711 | 起業支援事業 | 産業振興課 | 商工振興係 | 飯澤 誠 | 赤羽 昇 | |
| | | 一次評価年月日 | 平成 27 年 6 月 10 日 | 連絡先〔内線〕 | 2145 | |
| 事務事業実施の根拠・位置づけ | 予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名) | 会計区分 | | 予算コード | 事業名(歳出予算見積書) | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 | | | 0701 | 商工事業 | |
| | <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 | | | | #N/A | |
| | 第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ | 章 | (コード選択) | 4章 | 活力ある産業とにぎわいのまちづくり | |
| | | 節 | (コード選択) | 1節 | 活力ある地域産業の創出 | |
| | | 項〔基本施策〕 | (コード選択) | 7項 | 地域特性を活かした起業の支援 | |
| 目〔主な施策〕 | | (コード選択) | 1目 | 起業の支援 | | |
| 関連する計画等への位置づけ | <input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 | <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 | <input type="checkbox"/> 主要業務報告 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 事務期間 | (開始) | 年度 ~ (終了予定) | 年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明 | <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし | |

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

辰野町で起業したい人及び企業

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

辰野町で起業し易い環境をつくる

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

| | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 企業誘致対策室連携し、企業誘致を図る |
| 2 | 起業したい人及び企業に、町の制度融資資金の融資あっせんを行う |
| 3 | |
| 4 | |

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

| 区分 | 単位 | 実績値 | | 計画値 | | 最終目標年度 | | |
|----|-----|--------------------|------|---------------------------------|-----|--------|-------------|---|
| | | 25年度 | 26年度 | 27年度 (見込み) | 達成率 | 27 | 年度 (見込み) | |
| ① | 指標名 | 町制度資金あっせん件数 | | 2 | 3 | 5 | 0.60 | 5 |
| | 説明 | 町制度資金あっせん(新規開業等件数) | | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 過去の実績による見込数 | | | | |
| ② | 指標名 | | | | | | | 0 |
| | 説明 | | | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 | | | | |

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

| 区分 | 単位 | 実績値 | | 計画値 | | 最終目標年度 | | |
|----|-----|----------------|------|---------------------------------|-----|--------|-------------|----|
| | | 25年度 | 26年度 | 27年度 (見込み) | 達成率 | 27 | 年度 (見込み) | |
| ① | 指標名 | 商工業誘致及び振興補助金 | | 13 | 19 | 19 | 1.00 | 19 |
| | 説明 | 商工業誘致及び振興補助金件数 | | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 過去の実績による見込数 | | | | |
| ② | 指標名 | | | | | | | 0 |
| | 説明 | | | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 | | | | |

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

| ○総事業費(コスト概算) =①+② | (千円) | 平成24年度 決算 | 平成25年度 決算 | 平成26年度 決算 | 平成27年度 見込み |
|---|------|--------------------------------------|----------------|----------------|----------------|
| | | 対前年比 | % | | 445.6 |
| A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など) | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| B) 一般財源(税金) | | 724 | 3,225 | 6,824 | 4,731 |
| ①事業費 | (千円) | 0 | 2,500 | 6,100 | 4,000 |
| 対前年比 | % | | #DIV/0! | 244 | 65.6 |
| ②人件費の概算 | (千円) | 724 | 725 | 724 | 731 |
| 対前年比 | % | | 100.2 | 99.9 | 101 |
| | | 年間人件費 | 年間人件費 | 年間人件費 | 年間人件費 |
| | | H25 H26 H27 | H25 H26 H27 | H25 H26 H27 | H25 H26 H27 |
| 町職員(正規職員) | | 0.00 0.00 0.00 | 0.00 0.00 0.00 | 0.09 0.09 0.09 | 0.00 0.00 0.00 |
| 臨時職員 | | 人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート) | | | 0.00 0.00 0.00 |
| | | 724 | 725 | 724 | 731 |
| | | 0 | 0 | 0 | 0 |

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

| 視点 | 項目別評価 | 判定 | 評価結果 | |
|-----|-------------------------------------|----|--|--|
| 妥当性 | 1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか | A | A 増加傾向にある C 減少傾向にある | B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 融資あっせん貸付状況 |
| | 2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか | A | A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる | B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない |
| | 3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか | A | A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある | Bの場合、その具体的な内容をお書きください |
| | 4. 目的(意図)の設定は妥当ですか | A | A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある | Bの場合、その具体的な内容をお書きください |
| 有効性 | 5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度) | C | A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない | C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください 設備投資をしての既存企業者が減少している |
| 効率性 | 6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて) | A | A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない | A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください まちづくり政策課企業誘致対策室用地対策事業と連携 |
| | 7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか | A | A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり | C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください |
| 公平性 | 8. 受益者負担は適切ですか | A | A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり | C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください |
| その他 | 9. 民間企業・住民団体との協働の可能性はありますか | A | A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中 | A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 商工会、金融機関との情報共有 |

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

| | |
|--|--|
| 改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。) | 27年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
| 昨年作成した、企業ガイドブックを活用し、町内外にPRをし、町に企業のPRに努めた。起業する起業には、町・県制度資金、商工業誘致及び振興補助金の活用を図れるよう引き続き実施する。 | [反映内容] 商工会へ後継者育成補助金 |

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

| | |
|--|---|
| (評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。) | 上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック |
| 起業支援を図る上で継続実施 | <input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小 |

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記 a~e を選択